

月曜の朝は、ご門徒さんとお勤め



ご門徒のお勤めを習いたいとの申し出から始まりました。



お勤め

正信偈草四句目下げ

念仏 お早引き

和讃 同朋奉讃形で浄土和讃・高僧
和讃・正像末和讃を回り口

回向 願以此功德

参加者には、『増補真宗大谷派勤行集』
(青本)をプレゼントします。



この日(2018.6.11)は、副住職が京都から帰省して
いましたので、住職は内陣出仕しました。

ふだんは、間衣輪袈裟で外陣でお勤めします。

鑿役は、衆徒鈴木氏がいつも勤めます。



『御文』拝読 回り口
参加者には、『昭和新刻 御文 ひらがな版』をプレゼントします。



御文拝読後、御仏飯のお給仕をします。



法話
『御文』目で追っていても、「さつぱりわかんねえから、住職、内容を話してくれ」と意見があり、法話は、その日いただいた御文の心を5分程度でお話しします。



この日は、坊守がカメラマンを務めました。



このお勤めは、2012年11月12日（月）に川名喜昭ご夫妻二人から始まりました。氏は積極的に仲間を誘い、今は毎回10数名でお勤めしています。
この間に新たに加わった方、去った方（お亡くなりになったり自動車の運転ができなくなった）がいます。
永続していきたいですが、それはご縁次第です。

[2018.11.17報恩講にて]